

問う

代表質問を平成29年6月9日に開会した第2回定例会本会議で行いました。

代表質問

議案の審議に先立ち、各会派を代表する議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。
以下、その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

足立区に夢と希望を。

自由民主党 たただ太郎 議員



「協創」の可視化が必要だ

【問】本年4月から新基本構想・新基本計画に基づく区政がスタートを切った。協創のしくみを区民に理解を深めてもらう取り組みが必要だと考える。協創ガイドラインを策定するだけではなく、それに沿って新たな協創の取り組みを生み出し、具体的事例により可視化することが必要だと考えるがどうか。

「政策経営」協創を象徴する具体的な取り組みを

「政策経営」として取り上げ、協働の担い手の皆さんに伝えることが重要とされている。様々な活動を行っている区民・団体等の説明に加えて出前講座等も実施して、協創の取り組みを可視化していく。

あやせ保育園の移転への対応は

【問】①国家戦略特区の申請の認定に伴い、都立東綾瀬公園内の敷地に保育所設置に係る占用が可能となり、区は区立普賢寺公園への仮移転計画の取り止めの決定をした。今後、都立東綾瀬公園に移転するあやせ保育園においては、子ども達が安全に遊ぶスペースの確保等、十分な保育環境は確保できるのか。

②移転先の近隣住民への影響が懸念されるが、区としてどのような対応を考えているのか。

【子ども】①あやせ保育園は、

国家戦略特区の認定を受け、都立東綾瀬公園内に設置するため、専用の園庭を設けることは認められていない。恵まれた自然環境の中で安全かつ十分に遊べるよう、保育士の増配置や保育内容を検討していく。

また、夏季の仮設プール設置場所として約100㎡のスペースを確保しており、プール使用期間以外は土を残し、自然に触れられるよう工夫をしていく。

②公園外への飛び出し防止のための低木の設置や警備員配置等を検討していき、周辺の環境整備について都と協議していく。



綾瀬の活性化へ向けた開発を

【問】綾瀬駅前の開発については、バンクネット以外の5つの要望を区長名で改めて事業者へ提出したと聞いている。区の粘り強い交渉によって地元住民の声が反映され、将来にわたって地域の活性化につながるような開発となるよう努力をしてほしいと考えるがどうか。

【資産管理】保育所設置や駅前

歩行空間の確保、低階層への商業用途の誘導等が綾瀬エリアの将来にわたる魅力づくりや活性化に必要と認識している。

引き続き、開発事業者には粘り強く働きかけを行い、要望事項の実現に努めていく。

区民が望む診療科目の実現を

【問】東京女子医科大学東医療センターの移転について、今後は、建築費や先進高額医療機器の導入費用等、区からの多額の税金が投入されることとなるので、区民が望む診療科目の実現は確実なものにしなければならぬと考えるがどうか。

「政策経営」今後は、区内の医師会・歯科医師会・薬剤師会を含めた協議会を設置し、東京女子医大に要望していく。

【問】順調に減少してきた刑法犯認知件数が増加した原因をどう分析しているのか。

また、増加した侵入窃盗については、今後どのような対策を実施していくのか。

「危機管理」特に侵入窃盗の増加が著しく、複数のプロがそれぞれ

の地域で犯行を敢行したものと思量される。侵入窃盗対策として、街頭防犯カメラの設置促進、パトロールの増強、戸締り励行の啓発等を早急に実施していく。

防犯カメラは空白地域の解消を

【問】約1千500台設置したとされる防犯カメラについては、空白地域をなくする必要があると考

えるがどうか。

また、常時録画が可能なインターホンカメラの本格事業化はどうなっているのか。

「危機管理」空白地域の町会・自治会に対しては、警察署と協働して勧奨を強めていき、区が設置するカメラについても、今後は空白地域を優先していく。

インターホンカメラについては、「防犯まちづくり推進地区」を対象としており、9地区に対して200台の設置を予定している。

防犯パトロールのさらなる強化

【問】青色パトロール、徒歩パトロールに関し、現状はどういう時間帯、日数で実施されているのか。

また、そのようなパトロールをさらに強化する必要があると考えるがどうか。

【危機管理】それぞれ平日の13時から21時、21時から5時の時間帯において年間290日間実施しているが、緊急対策として今後はともに全日実施とし、さらに徒歩パトロールは8組16名から10組20名に増員し、これまで未実施だった地域をカバーできるように増強する考えである。



自動通話録音機の推進を

【問】振り込め詐欺については、都内での発生件数、被害総額のいずれも増加している状況である。これまでも自動通話録音機

のさらなる推進を主張してきたが、進捗状況はどうか。

【危機管理】今年度については、さらに800台を貸し出すため準備を進めており、8月には開始できる見通しである。短期間で普及を図るため、基本的に区内警察署を窓口にして、申請、即設置できる体制を進めていく。

長寿命化に備えた本庁舎改修を

【問】区政運営上、大変重要な役割を担う本庁舎については、北館が建設から31年、中央館と南館は21年が経過しており、長寿命化に備えた改修が必要となる時期と思われるが、区の認識はどうか。



「資産管理」本格的な改修に向けた準備を進めるべき時期に差し掛かっていると認識している。

早急に具体的な改修の検討に着手し、順次、適切な大規模改修を実施することで、本庁舎全体の長寿命化を図っていくことが重要であると考えている。

今後の待機児童対策は

【問】保育需要率が急激に上昇し、予測を大きく上回ったことが待機児童数の大幅な増加の原因だと聞いているが、今後、保育需要の予測をどのように行い、待機児童対策の取り組みにどう反映させていくのか。

【教育長】このたび保育需要率の伸びが当初見込みの2倍と予

測を大きく上回ったことから、当面は都が示している平成32年までに、就学前児童人口に対する保育サービス利用児童数50%に対応できることを目安に整備を進めていくよう改める。

また、新たに妊娠前から保育施設の利用意向を調査する等、区独自の取り組みを実施し、より実態に即した待機児童対策となるよう努めていく。

保育施設の保育料の負担軽減を

【問】区の保育施設の保育料は、利用者負担のあり方の議論に基づいた額となっており、23区内で比較した場合、全体的に見れば高くはないが、区民税所得割が非課税となるB・C階層においては、他区よりも高額となっている。利用者負担の考え方を堅持しつつも、ここ数年の国の動きや社会情勢の変化を受け、また、真に困窮する保護者のために、B・C階層については保育料の負担を無くすべきだと考えるがどうか。

【子ども】区の保育料は、適正な利用者負担のあり方の議論に基づき、低所得者層についても一定の負担をお願いしている。

しかし、国が進める段階的無償化によって、すでに3分の2が無償となっており、区が進める子どもの貧困対策の観点からB・C階層の保育料の無償化について、今後、区子育て支援サービス利用者負担適正化審議会へ諮っていく。

幼児教育施設も負担軽減を

【問】幼稚園、認定こども園等の幼児教育施設についても、国が進める幼児教育の段階的無償化と、区の進める子どもの貧困